

363

いよいよ疾走し、鉄網を駆け上つた必と二弾
を受け即死。金収容所内に異状が衝動を
つた。此の異変と聞き金収容所は南に道路に
群集し、見当に急遽増兵され、機関
銃のカーは取られ警戒と厳戒したのは、各
らにとっては大さな異変であつた。

惨死者は数日未だ精神に異状あり、危険
性があるものといふ。ハワイには妻と多くの子
を持つ子福者で且つ或一功者として有格の暮に
おる人といふ。自來家族の平々々々頻りに
いて神経衰弱の結果 古心いたさのたといは
れて居る。

五月十三日(水)

午前十一時。前例に従つて故大島氏の葬儀
かはらん、司式者は禪道宗の僧侶である。参列
者中多くの注目を受けたのは、パナマからの一隊中
上座と幸福の頭の手紙をかぶり即ち下駄を
穿いたものが二、三平然として列に加はつてゐた事に、
誰れも之れには眉をひそめた事である。

午ね、金収容所内異呼を受けた。初めての事である。
昨日の不祥事によって更めて此の人員異呼が
はんとおぼへ思はれる。

昨夜各々が収容されてゐる鉄條網内の東
北方面で何事が騒ぎが突如として、それは、加

364

小川らの一同胞中精神病者が何年か騒ぎを
立てたので同宿者が取り戸へ居るのを、ガードマン
と叫び声を鳴らし、フラッシュライトを照らし、或
は物見高の他の何人にも退散を命じると等々の騒
ぎが起ったらしい。結局、田岡市長を通じ
監視兵との連絡により、関山医師の来診注
射で暫く静かになったのにと判った。ガードも被
収容者も極度の神経が尖ってゐたわけ、些々
一小事でも興奮するのであらうが、要するに規定
通り、午後九時後は静粛ルネート内に居て、徒
に外を見廻ったり、声で驚ぐ必要はない。

午後に監督官は十名程の部下と共に、右
の精神患者を連ねて来たが、手錠を携帯せしめ
るも拘らう。何人は頗る静粛なつて、医師に任せ
てゐたらしい。次で右患者はMain Hospital
に収容された。同街或病院は頗る立派なもので
最も丁重に取扱ひがなされてゐると、田岡
の報告だ。患者は監視下に在りて手入れ等と
進んでやり度いと言つてゐるらしい。

お野矢の長女富美と妹おさきが結婚した
との報に接した。昨夕は華燭の典かつワパ
何人ナジスト報告でめづられた。現在の環
境に於ては、おらは祝賀の意と共に喜すべき
何等の念もない。依つて僕はスラフパ紙
に、一同署名し、祝意を表する一額面を制作

365

i 贈の事い。皆の賛意と相着するに
いた。

平時をらは、同族の如き地方の有志数なり
盛大に披露かりはれるのであらうが、いかにも
或いかに現状にある限り、現状の
情にへ難きものがある。

九月十五日(金)

昨日昼食から元の食堂へ送られ、シル
と三度毎失れる。ハワイの食堂では病人におし
てフエックは頗る親切に心配にしてくるか、送
者でよい限り、僕の食事は單に肉かきと砂糖
がけへられたい。どの病人も同一おめで
食餌療養には大い効果は得られたい。
更に食堂の環境も同じテーク、同病者達
の manner は、むしろ病勢とつらさの感か
ず。元の食堂はくんと云つても僕には好まし。
而も近所表がメス、オフィサーでもなるから萬分便宜
だ。オ、環境が奇麗で人員の力が静寂
に止つ友人のせだから、今又食事が唯一の
楽しみと云つてよいけれど、精神的に大さな慰安
もある。

夜 同上元のテーク、オニオントでお茶の市場也
きに、厚田君が呼びよせてくれた。キヤ
ンでも出て厚田君の家族から来たハネデウのカス